

## 自己紹介～上田青年会議所の活動について



一般社団法人 上田青年会議所

理事長 林 和明様

山寺先輩を始めとする上田東ロータリークラブの皆様、こんにちは。本日は貴重なお時間を頂きましたこと深く感謝申し上げます。私は上田青年会議所第68代理事長の林和明と申します。

さて私も色んな肩書がありますが、主なものを上げますと長野県議会議員、上田青年会議所理事長、合同会社リンテック代表の三つです。

私は自身の強みとして自身が創業者であり経営者である、皆さんと同じ事業者であること、それが強みだと思っています。普段接する行政職員、他の政治家は自身が経営者ではないためどうも経済に関して疎いと感じる事があります。現在39歳で前職は22歳から5年間上田市マルチメディア情報センターに勤務しておりました。そこで培った技術と経験が現在の事業に繋がっております。

これまでいくつかの公職、四中のPTA会長もしてきました。子供は大学生の息子と高校生の娘が二人おります。

現在は合同会社リンテックという会社で代表を務めております。個人事業主として始め、その後法人化し12年になります。地域の皆様のおかげで12年社業を継続しているわけですが決して順風満帆ではありませんでした。

今年度の上田青年会議所の活動についてお話いたします。活動方針として三つ挙げております。

まずは継承、本年度上田青年会議所は認証から65周年を迎え、認証日となる9月には65周年記念式典の開催を予定しております。

続いて創造、これは65年の歴史の中で初挑戦となる新潟、石川、福井、富山、長野の北陸信越五県の青年会議所メンバーが長野県上田市に一堂に集まることになる地区フォーラムという会議を上田市で開催することになり、大きな経済効果を生み出すこととなります。

今年度の主な事業は、上田わっしょい、花火大会、太郎フェス、公開討論会です。私は上田青年会議所に27歳で入会したため今年で入会13年になります。そしてもう

ひとつは2020年、コロナ禍真っ只中の中上田市の花火大会が中止となったことで、私は委員長として独自に花火大会を企画しました。

ここで、上田青年会議所（上田JC）が主催・主管する「地区フォーラム」の開催が、上田地域にもたらす具体的なメリットについて、3つの視点から解説します。

地区フォーラムは、長野・新潟・富山・石川・福井の5県から、地域を牽引する若手経済人（JC会員）が一堂に会する大規模な事業です。この取り組みは、単なるイベントの枠を超え、上田地域に多面的なプラスの影響を与えます。

まず挙げられるのが、圧倒的な集客による経済への貢献です。北陸信越地区の65の青年会議所から、約1,500人以上の現役会員や卒業生が上田を訪れます。これにより、市内の宿泊施設、飲食店、交通機関、土産物店などにおいて、短期間に大きな経済波及効果が生まれます。参加者の多くは若手経営者や企業の決裁権を持つリーダー層です。フォーラムを通じて上田の企業や特産品が認知されることで、新たな企業間取引のきっかけや、将来的なビジネスパートナーシップへと繋がる可能性を秘めています。

そして地区フォーラムは、上田の魅力を広域に発信する絶好のプラットフォームとなります。5県から集まるリーダーたちが、SNSや自身のネットワークを通じて上田の情報を発信します。これにより、「真田ゆかりの城下町」としての歴史文化や、別所・鹿教湯といった温泉地の魅力が、質の高い口コミとして拡散されます。フォーラムを通じて上田のファンになった参加者が、後日家族や友人を連れて観光に訪れる「リピーター化」が期待できます。これは、単なる一過性の観光客ではなく、地域に愛着を持つ「関係人口」の拡大に寄与します。

上田JCの取り組みの中で特に重要なのが、地域住民や次世代を巻き込むプロセスです。フォーラムの企画や運営に地元の高校生・大学生が参画することで、若者が地域の課題を自分事として捉え、郷土愛（シビックプライド）を育む機会となります。これは将来的な「若者の地域定着」や「Uターン」を促す種まきとなります。

